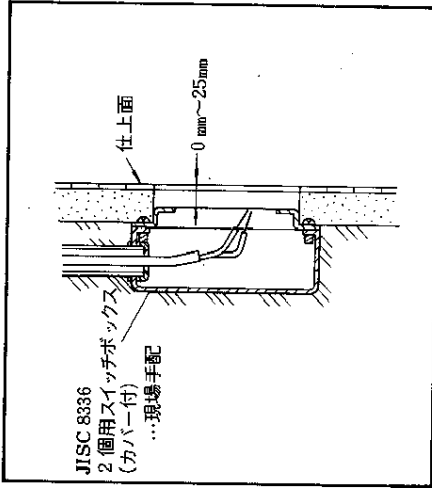


# 押ボタンスイッチ(TES2P)取付説明書

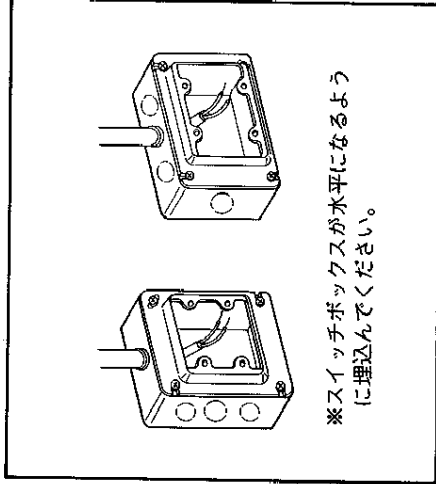
製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 取付けと配線

- ① 押ボタンスイッチ取付位置にスイッチボックスをあらかじめ埋込み、信号線を電線管に通してボックス内に引き込んでおきます。



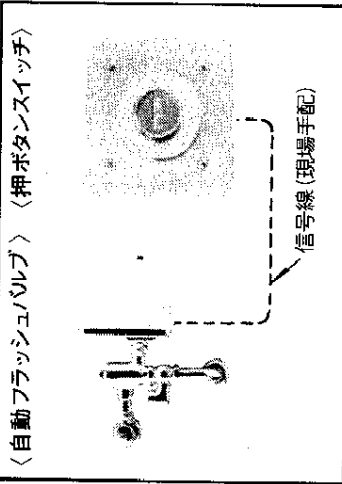
- スイッチボックスを埋込む場合、下図のように90°回転させた状態で埋込んでおきます。押ボタンスイッチは取付けられます。



この製品は自動フラッシュバルブ (別売) とセットでご使用いただく信号装置です。取付けに当っては自動フラッシュバルブの取付説明書と合わせてご覧ください。

## 取付前に

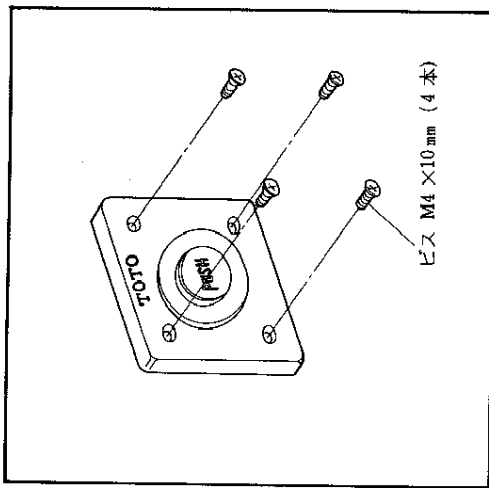
- 水道工事と電気工事は十分工程を打合せの上、行ってください。
- 押ボタンスイッチと自動フラッシュバルブ間の信号線は現場でご用意ください。



☆ 信号線は0.5mm<sup>2</sup>又は0.8mm<sup>2</sup>以上の2心コードをご使用ください。  
☆ 配線可能距離……50mまで

- この信号線は他の電源線と同一電線管内に配線しないでください。
- 電気器具ですから絶対に水をかけないよう注意してください。
- スイッチボックスはJIS C 8336 2個用スイッチボックス (カバー付) をご使用ください。

- ④ カバーを付属のビス (M4×10mm) 4本でプレートに固定してください。



## 取付け完了後の確認

押ボタンスイッチを押し、自動フラッシュバルブが作動することを確認してください。一度大便器の洗浄を行うと自動フラッシュバルブ内のコンローラの働きにより、約10秒間は再洗浄できません。又、押ボタンスイッチを押したままでも1回洗浄するだけです。

- ③ 信号線をスイッチの端子 (NORMALLY OPEN, COMMON) に接続してください。

- スイッチには極性がありませんので、接続端子が逆になっても支障ありません。

